



NETWORLD NEWS



最旬オススメ
仮想化スタイル
って何？

VNXe
ストレージとは!?

デキるIT 管理者はコレを選んでいた!



気になる!
他社のバックアップ
事情

エンタープライズストレージ市場のトップに君臨するEMCが満を持して発売した VNXe は、ミッドレンジクラス~エントリークラスのストレージ市場に殴りこみをかけるものだった。高級 EMC ブランドを引っ提げて、従来からの信頼性はもちろん保ちつつ、それでいてリーズナブルな価格帯で登場した VNXe は、ストレージ業界を震撼させ、多数のメディアに取り上げられた。日本語 GUI を搭載したユーザーフレンドリーな設計で日本人に優しい作りとなっている VNXe は、多数の悩める IT 管理者の心をがっちりキャッチして離さない。

しかしそんな中、我々ネットワークは VNXe を購入検討する多くの IT 管理者様がストレージに戸惑い、実は他社の導入・構築状況を気にしているという実態を目の当たりにした。本書はネットワークの販売実績・聞きこみ調査を基にしており、「隣の事情」が気になって仕方ない日本人ならではの思考回路に一つの指標を示すものである。

VNXe 世論調査 大暴露

※ネットワーク調べ
※当資料の各項目については有効回答数が異なります。

株式会社ネットワーク <http://www.networld.co.jp/>

お問い合わせ emc-info@networld.co.jp

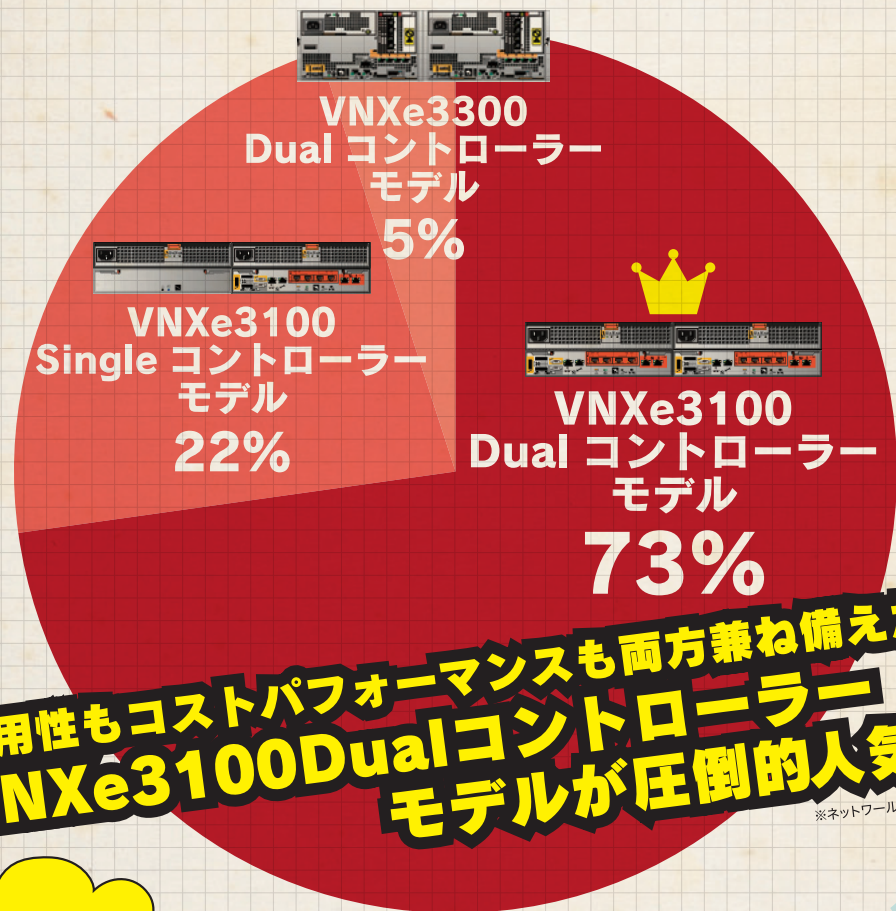
本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11-15 住友商事神保町ビル TEL:03-5210-5020,5031,5095
関西支店 〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル24F TEL:06-7664-5400
中部支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-3 第二アスタービル6F TEL:052-588-7611
九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九勤筑紫通ビル3F TEL:092-461-7815

※記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。 2012年5月 ©2012 EMC Corporation. All rights reserved

VNXe 世論調査 大暴露 デキる IT 管理者はコレを選んでいった!

調査No. 001 VNXe の調査結果発表

VNXe、どのモデルを買った?



可用性もコストパフォーマンスも両方兼ね備えた VNXe3100Dual コントローラーモデルが圧倒的人気!

もっと詳しく知りたい!

どうしてそのモデルを選んだの?

- VNXe3100 Dual コントローラーモデル**
 - 安さを重視したいけど、耐障害性も考慮しなかったから。
 - 絶対に止めたくない環境用だったから。
 - 単一障害点(SPOF)がない可用性のあるものが欲しかったから。
- VNXe3100 Single コントローラーモデル**
 - とにかく安さ重視だったから。
 - バックアップ用ストレージのため、Dual コントローラーほどの可用性は不要だったから。
- VNXe3300 Dual コントローラーモデル**
 - 10 ギガビット・イーサネットが使いたかったから。
 - 今後 SSD(ソリッド・ステート・ドライブ)を搭載する予定だから。
 - 今後容量が増加する予定を考慮し、拡張性の高いモデルが良かったから。

1 VNXeを選んだ理由

信頼性の高いEMCブランドはファン層がアツい!

EMCの信頼性は揺るぎないものだった。EMCというブランドが与える安心感がダントツの一位。高級&エンタープライズ向けで近寄り難いというイメージを持つ事なかれ。EMCが手の届く価格帯になった今、検討してみる価値はあるのではないだろうか? ネットワールドならVNXeの貸出機もご用意しているので、購入前に一度借りてみるのも手かもしれない!

※ネットワーク営業調べ

2 どんな Disk タイプを選んだ?

安価で大容量のNL-SASを選択した方は全体の55%!

VNXeを購入する方は、コストパフォーマンスを重視しているという傾向に。かつては、SATAディスクといえばFCディスクやSASディスクに比べて、信頼性が低いと言われていたこともあった。しかし現在、EMCで選択されているNL-SASディスクは信頼性が向上されているため、導入に至る企業は多い。もちろん高速なSASディスクも取り入れて、あなたの環境にマッチする搭載方法を選択しよう!

※ネットワーク販売実績より

ONE POINT NL-SASディスクってどんなもの? **NL-SAS**

NL-SASは、ニアラインサスと読み、中身はSATAディスクで接続プロトコルとしてSASプロトコルを利用するディスクを指します。これにより、大容量且つローコストながら6Gbpsの通信帯域と、より高度なエラー検知など、SASディスクと同様のエンタープライズ機能を有することができます。

3 実際の所いくらかかった…?

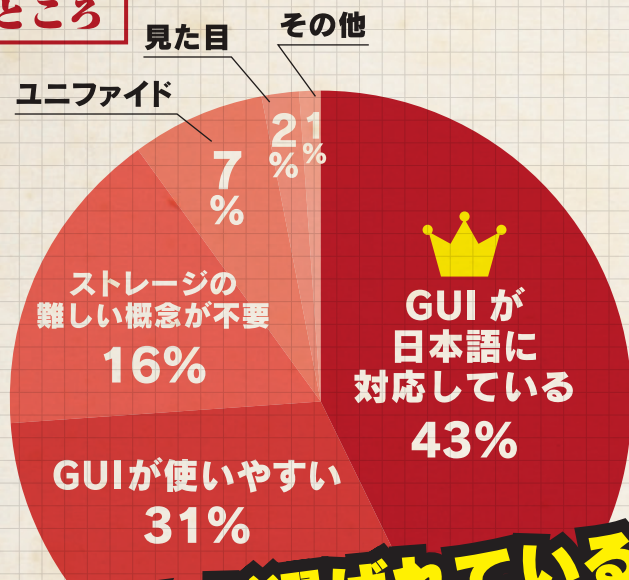
一番聞きにくい費用の話。ウチはウチ、ヨソはヨソ、と言っても、他社は一体VNXeにどれくらいのコストをかけてるの?

200万円以下の案件が実に75%!

※ネットワーク販売実績からの推定価格 ※保守含む(構築費除く)

調査No. **002** VNXeの
イイところ

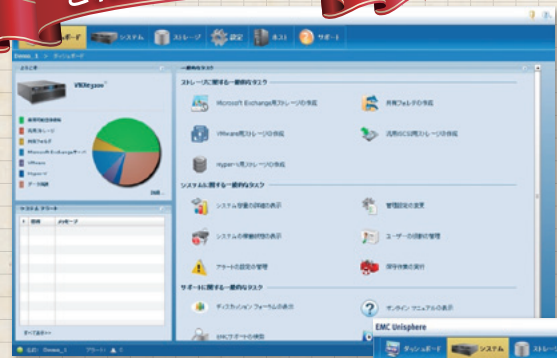
VNXeのお気に入りポイントは?



VNXeが選ばれている理由は、管理GUIのUnisphereにあった!
(ユニスフィア) ※ネットワーク営業調べ

Flashを使ったなめらかな管理画面は、今までのストレージの概念を一新し、よりユーザー想いの仕様に!今までストレージに触ったことのない管理者でも、日本語化されたGUIなら感覚的にストレージの運用・管理をすることが出来る。ネットワークなら、ハンズオンで感想を記入いただいたお客様全員に、このEMC Unisphereを精巧に作りこんだデモツールをプレゼント。美しい管理画面を是非体感しよう!その操作感に驚くこと間違いなし!

これがUnisphereだ!



用途ごとに分かれたアイコンのおかげで、ウィザードに従って簡単に作成や管理ができるスグレもの!

障害通知もUnisphereから確認!ポップアップから障害箇所のヘルプを参照したり、サポートページに飛ぶことが出来るぞ!

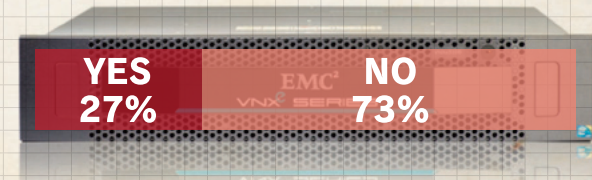


調査No. **003** ストレージ
利用方法

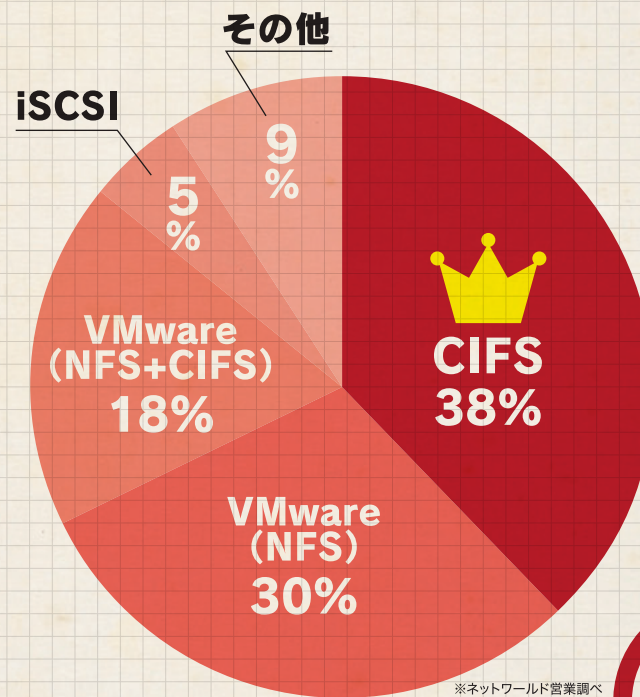
教えて!

他社はどのプロトコルを使ってる?!

ユニファイド(複数プロトコル)で使ってる?



ユニファイドでの使用はもったいないかと思いきや、既に30%を占めるほどの急速な伸びを示している!



ファイルサーバー用途とVMware用途が大半という結果に!

VNXeの利用用途としては、ファイルサーバーとVMwareで大きく分かれた。ファイルサーバー統合を実施されたお客様はCIFS、VMwareをご使用になるお客様はNFSと、単一の使用方法で占めてはいるものの、プロトコルは無償なので、異なる使用用途のシステムを統合しても安心だ!

どんなに使ってもプロトコル料金追加なし!

実際の管理者よくある体験談に聞く!

私は一人でシステム全部を管理しています。そこまで大きなシステムではないにしても、一人というのは本当に大変で...前年から引き継いだ状態では、システムも更新のタイミングも管理方法もバラバラでそれは苦勞の連続でした。しかし、VNXeを導入したら、これらの悩みは劇的に改善されたんです。VNXeはもともとVMware用

で購入したのですが、ちょうどファイルサーバー更改のタイミングが近づいてきたので、ファイルサーバー部分もVNXeに統合してしまいました。なんといってもプロトコルがタダです!管理GUIも一つになって、管理もしやすくなり一石二鳥でした。コスト削減もできて、私の評価にもつながりました。



こんにちは、ネットワークです。

ストレージにお困りですか？ご提案にお困りですか？誰にだって得意なもの、苦手なものがあります。

1人ではできないことも、2人ならなんとかなるかもしれない。2人でもできないことだって、3人なら、5人なら、10人ならなんとかなるかもしれない。ネットワークなら色々なサービスであなたの「困った」をお助け致します！



VNxeって？
ストレージって？
誰か教えて！

実機が
どうしても
触ってみたい！

仮想化？
シンクライアント？
複合ソリューションの
ベストな選択は？

技術力を
身につけたい！

全てのお客さまに
価値ある提案を
したい！

お客さまの
大切なデータを
24時間365日
守りたい！

勝利の『鍵』を握るのは、あなたを全面的にサポートできる体制が充実しているネットワークだけ

ネットワークなら
しっかり解決
いたします!!

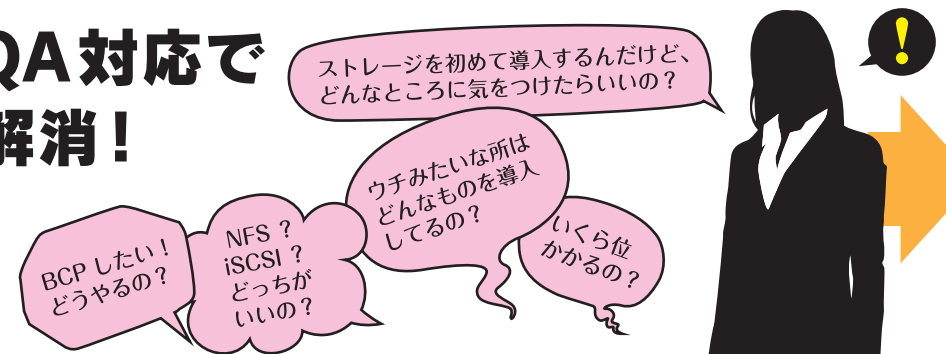
貸出機をご用意しております!

VNXeにはデモツールもご用意しておりますが、やはり高い買い物の前には実物を確認したいもの。事前の接続確認や、イベントへの実機展示などご相談ください。



いつでもどこでも
豊富な貸出機

プレQA対応で
疑問解消!



EMC 取り扱い歴 No.1ディストリビューター!

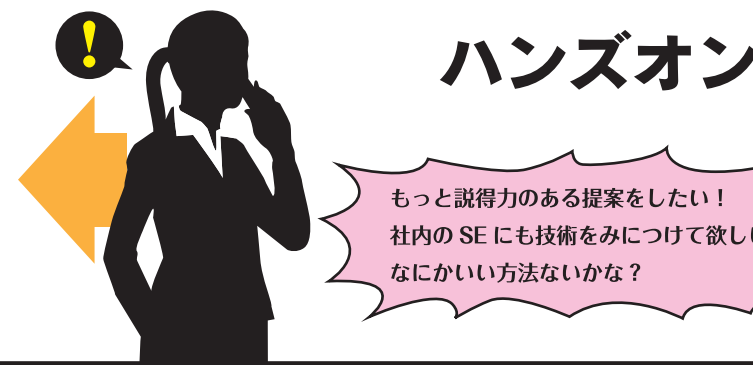
ストレージに関するノウハウや技術的知識には自信を持っています! ご不明な点は是非ネットワークまで。親身になってご対応いたします。

ネットワークなら
スッキリ解決
いたします!!

ネットワークなら
まるっと解決
いたします!!

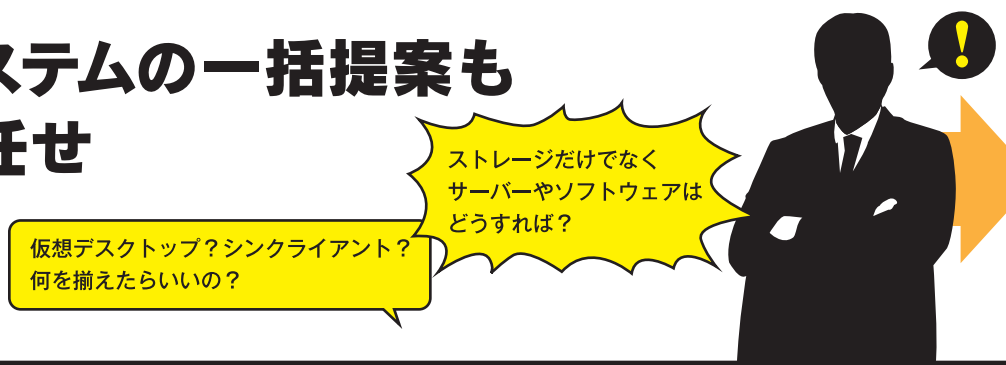
ハンズオンご準備しております!

大好評ハンズオン実施中です。初期セットアップから、運用部分に至るまで、座学と実習で習得して頂けます。導入～設計～運用までを実施頂けるようになります。



ハンズオンで力をつける

システムの一括提案も
お任せ



ご支援体制が充実しています!

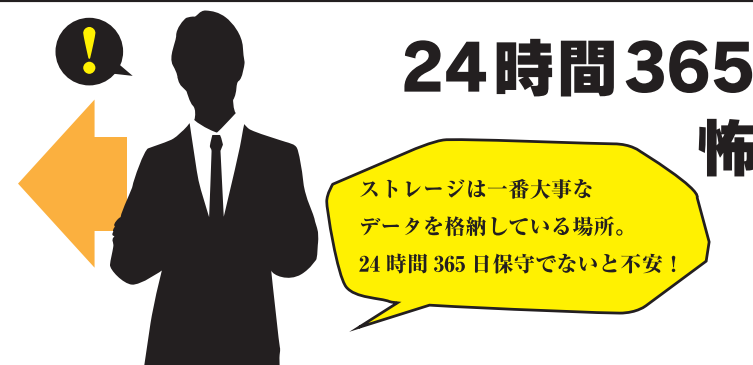
サーバー、ネットワーク、ソフトウェア、ストレージに至るまで、複合的にサポートいたします。ご提案からアフターサポートまで充実した体制をご用意しておりますので、お気軽にネットワークへご相談ください。

ネットワークなら
まとめて解決
いたします!!

ネットワークなら
ばっちり解決
いたします!!

24時間365日保守のパイオニアです!

VNXeのメーカー保守では、翌営業日オンサイトのみ提供可能となります。ネットワークなら、24時間365日保守*をご提供可能。提案からアフターサポートまでの一貫した支援体制がありますので、ご安心ください。



24時間365日保守対応で
怖いものなし!

様々な角度から
お手伝いをします



多方面からの提案サポート致します!

- キャンペーン展開支援
- 個別勉強会
- 共同プロモーション
- 製品資料/カタログ提供
- 提案時同行
- 複合的なお見積り作成

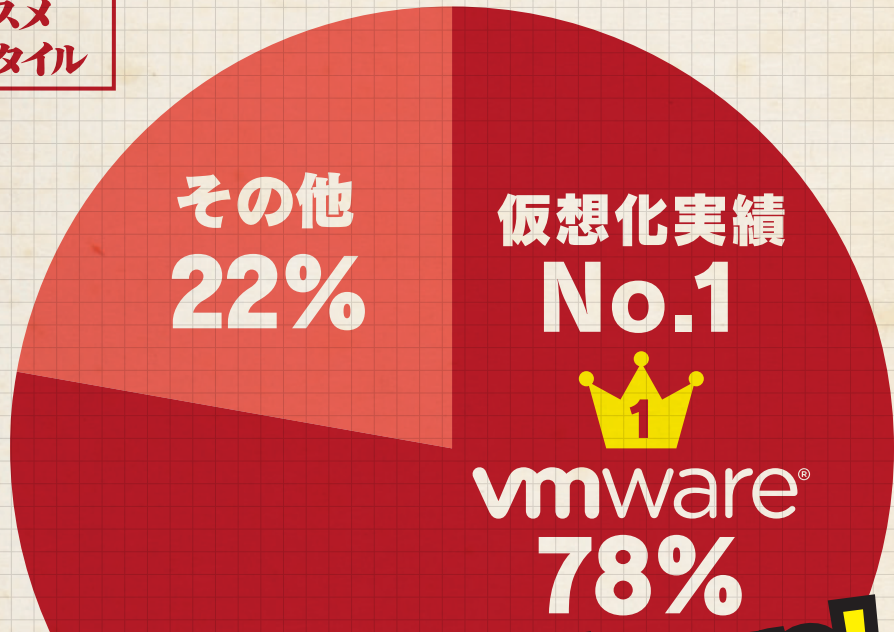
ネットワークなら
ごっそり解決
いたします!!

*一部地域対応となります。対応エリアについてはお問い合わせ下さい。

VNXe 世論調査 大暴露 できるIT管理者はコレを選んでいた!

調査No. **004** 最旬オススメ 仮想化スタイル

何使ってる?
仮想化みんなは



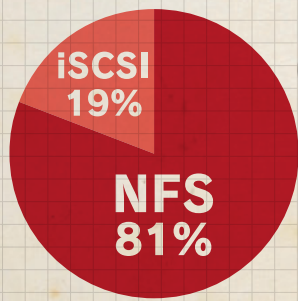
選ぶなら迷わずVMware!

仮想化市場シェアNo.1。さらにEMCとの相性は抜群。相互の対応の速さと互換性で、他の追従を許さない。
※セミナーアンケート結果及びネットワーク営業調べ

仮想化でお困りのあなたは、VNXe+VMwareコンビで決まり!何を隠そうVMwareはEMCのグループ会社である。VNXeの管理GUI「Unisphere」には、VMware用データストアをなんと「7クリック」で作成できるウィザードを搭載し、ストレージを知らないVMware管理者にも優しい設計になっているのだ。グループ会社化されてい

るメリットはこれだけにとどまらずVMwareで使用しているVMFSのスナップショットを取得する際にも、きちんと整合点をとりながらデータのバックアップを取得することだってもちろんできる。みんなが使っている安心の組み合わせで、しかもメーカーサポートもされているので、使わない手はなさそうだ。

VNXe利用時VMware仮想化するならどのプロトコル?



VMware + iSCSIはもう古い!?

多くのお客様が容量効率のよいNFSを選択しているという結果が明らかになった。もはやVMware+NFSという図式も常識となっている。

ONE POINT VMware以外で仮想化するならコレ! Hyper-V

専用管理GUI (Unisphere) 上に既にアイコン準備済み! 対話形式でクリック&クリック!

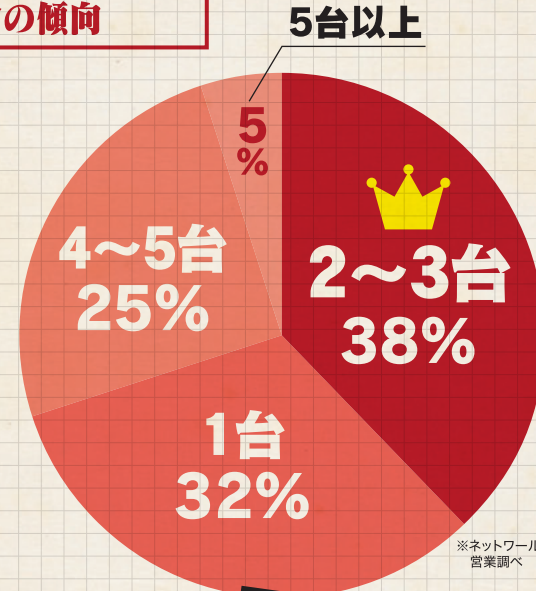
VNXeを購入した企業での仮想化状況としては、今のところVMwareに軍配が上がっているが、実は、Hyper-V用のウィザードも既に搭載されているので、様々なニーズにお応えすることができるぞ!



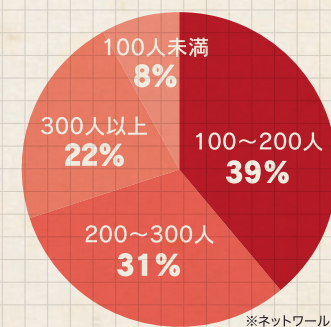
VNXe 世論調査 大暴露 できるIT管理者はコレを選んでいた!

調査No. **005** ファイルサーバー 統合の傾向

既存ファイルサーバー 何台統合した?

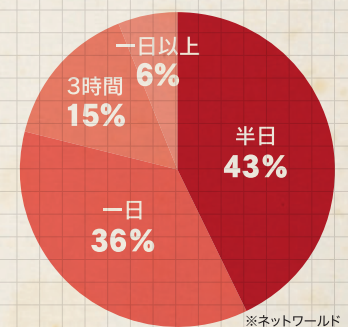


VNXeへの乗り換えをされた企業は、2台以上の複数の既存ファイルサーバーを、1台に集約するパターンが全体の約7割という結果となり、次いで1台でのリプレースとなっている。複数台統合した7割の中には、もちろんコンシューマ向けストレージなどの統合も含まれており、VNXeが災害対策にも対応していることや、省スペースコンパクト設計であること、コントローラー等冗長化構成であることなどが乗り換え時の注目ポイントであることがあげられる。



VNXeの実際の利用 ユーザーはどれくらい?

200人以下の規模で使用している企業が多く。しかしこれは、VNXe3100を購入している企業が多いからである。VNXe3300なら、最大1000人規模まで耐えられるスペックを備えており、リーズナブルでコンパクトなVNXeは意外にパワフルなのだ!

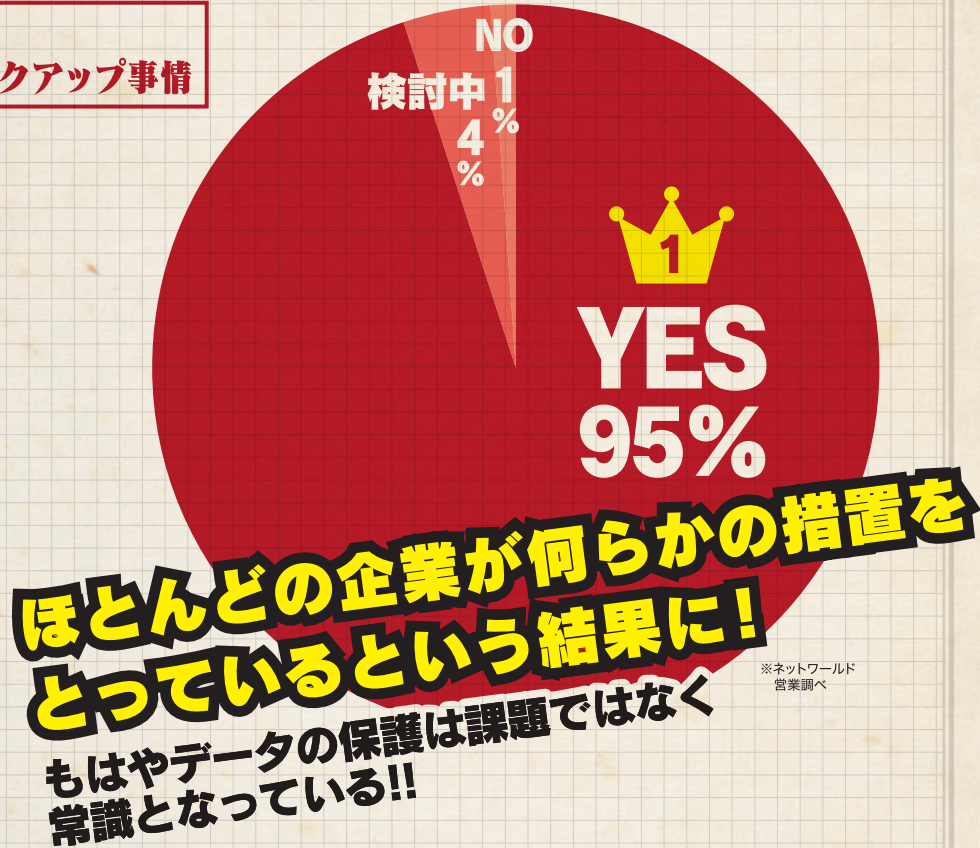


実際にVNXeの初期セットアップにかかった時間は?

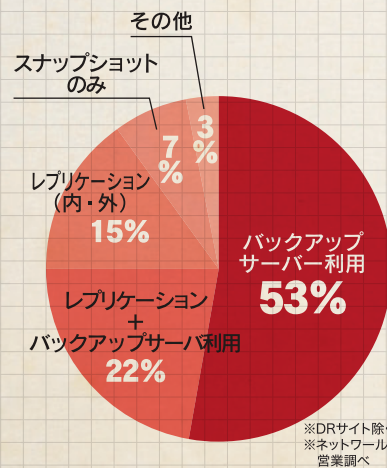
初心者でも、スムーズにいけば初期セットアップは1日足らずで完了することが出来る。手馴れた人間なら3時間もあれば余裕だろう。ネットワークのハンズオンを受講すれば、すぐにエキスパート級になれるぞ!

調査No. 006 気になる! 他社のバックアップ事情

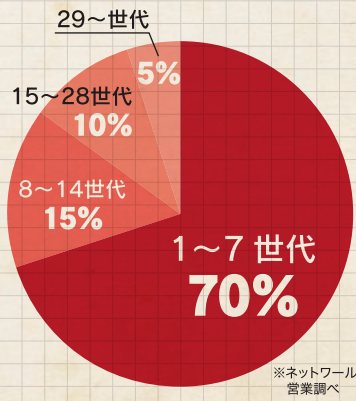
大切なデータを守る為の措置はとっている?



「災害対策措置済み」「データのバックアップ手法確立済み」という企業は9割以上!もはや大切な財産であるデータの保護措置は、当たり前となっている。その手法は様々でVNXeで実施している例は、オペレーションミス等を想定したスナップショット、本番システム障害を想定したレプリケーション、バックアップソフトを使用したバックアップなどさまざまである。VNXeはご利用環境やコーポレートポリシーによって、様々な対策を講じることが出来、しかも簡単に設定することが出来るのが管理者ウケの良い点だ。

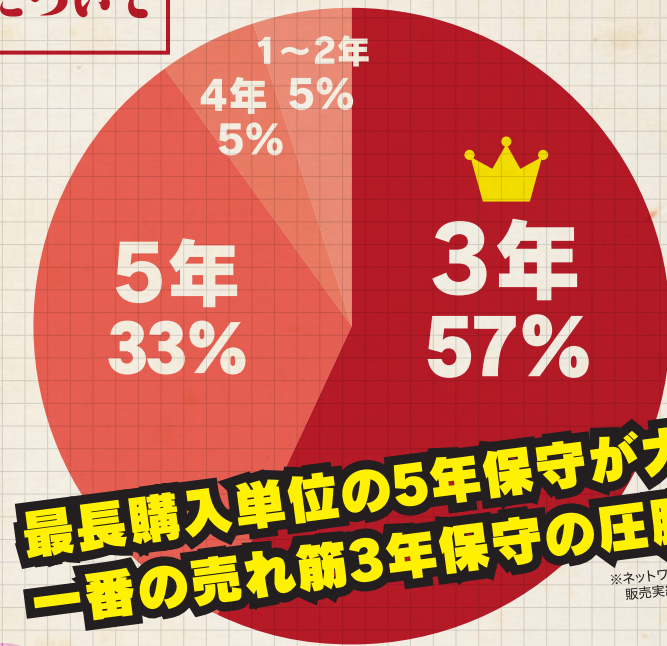


VNXeを使ってどんな方法で大切なデータを守っている?



調査No. 007 保守について

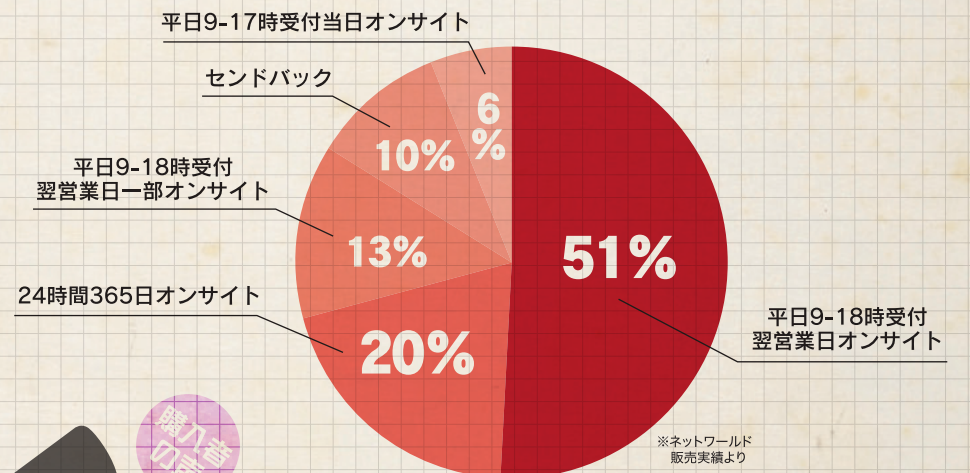
保守は何年ものを買った?



VNXeにはハードウェア保守が3年付属していることもあり、イニシャルコストを抑えて、3年保守を購入する企業が多いことが判明した。次点の5年保守については、長期的なスパンで考えた際には一番割安になるという理由から、選択されているようだ。

- やっぱり初期投資は抑えたい!(1~2年、3年)
- ハードウェア保守が3年間ついてくるなら、とりあえずは3年間使用して、あとは更新します。(3年)

どんなサービスレベルの保守を買った?



- 大事なデータが詰まっているストレージだからこそ24時間365日保守!(24365保守)
- 24時間365日保守が対応していないエリアだったので...(当日保守)
- バックアップ用途なので、平日のみで十分だから。(翌営業日オンサイト保守)